

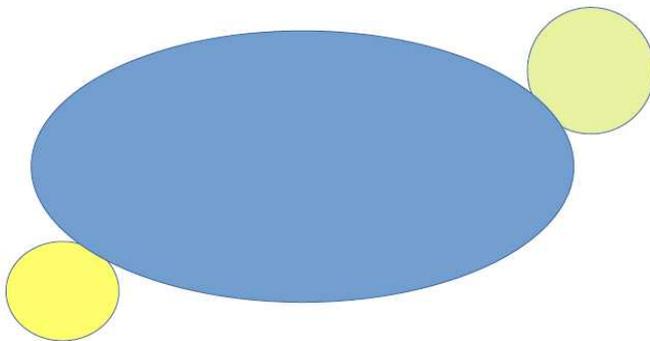
【議論4】第1校完成

これまでの議論をもとに、ごみ会議の委員にリサイクルトークに掲載する内容の取材や原稿の作成を依頼し、ごみ減量テクニックに関わる写真の提供や刈った草を干してどの程度体積が減るのかを実験した様子を撮影した。会議のなかで以下のような議論が交わされた。

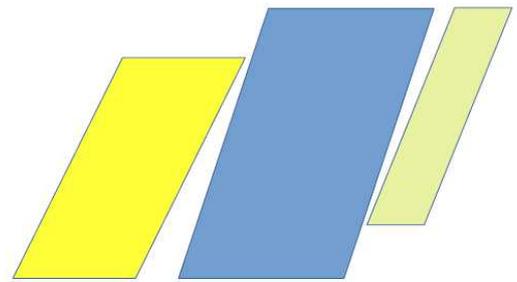
①「ごみのゆくえ」記事について

できあがったレイアウト案を見て、ごみの発生→分別→結論のうち、分別部分の比重が大きいのでは無いかとの意見があった。

掲載の趣旨として「分かれば分別したくなる」という動機付けの話を伝えたかったのに、分別のテクニック部分に比重がいきすぎているとの意見があった。



今までのレイアウト
(分別の比重が高い)



結論部分の比重も多く
(視線の誘導を意識した三段構成)

そのうえで、結論部分については、「ごみを分別するか、しないか」で未来が変わるという内容にした方が良いとの意見があった。ごみを分別すると〇〇というメリットがある、しないと××というデメリットがあるという二通りの未来を見せると「やっぱり分別をしなければ」という動機付けになるのではないかと意見があった。



”ごみの廃棄の流れ 選択によって未来が変わることを訴求・動機付けに”

へらすぞうとびんじん君について
へらすぞう・網代の弁天山に蘇ったナラマンゾウ。あきる野の自然を愛し後世に残したいと考える頭脳派な象。五日市出張所の入口に見えられたときの様子が長い間展示されている。

包装に入っている雑がみ類
通販の包材・プチプチ付きの封筒は、可燃ごみに入らずに、封筒と包材を分ければ雑がみでリサイクルできます。紙素材がわりに入っている紙も伸ばしておけば雑がみです。(燃えるごみに入れてませんか?) 資源集団回収に出せば、でコミュニティを応援することにもなります。

食品トレイ
白いトレイは市の回収に出せばOK。色付きトレイはスーパー等の回収ボックスに入ればリサイクルできます。そのまま可燃ごみに捨てるとカサを取るだけでなく、匂いで動物が寄ります。洗ってリサイクルすれば、ごみも減らさなから?

食べ残し・食品ロス
あきる野市の可燃ごみの約9%が食品ロス。賞味期限切れで食べられずに毎年の約1,500トンが市内から捨てられています。(令和4年推計値) 惣菜なども冷凍したり、熱を入れて調理し直すなど、食べ物は命だと感じ出して、美味しくいただきます。

002増加、天候不順、埋立て先の無い、悲しい未来

自然あふれる、子ども達に誇れるあきる野の未来
江戸前鮎も喜んでます。

ごみの情報誌
へらすぞう
ごみ情報誌「へらすぞう」は市民・事業者・行政の3者で作る広報誌です。 第29号 2025年2月発行

特集・ごみのゆくえ
今日の夕飯の準備をするあなた。そのとき出る「ごみのゆくえ」はあなたの選択次第?!

今日は通販で買ったドレッシングが痛く目だ。惣菜も買って夕飯にしよう

ごみ出し
未来を選択する時!

~今回の特集~
①ごみのゆくえ! 未来の選択
②リサイクルトーク衣類編
③ごみ減量テクニック雑草編

空腹でスーパーに行ったから、思ったより買わずもった。もよっと食べ切れなくて残っちゃったな...

↑↑ これまでの議論をもとに表紙・掲載内容文(案)を作成した。 ↑↑

②「リサイクルトーク」「ごみ減量テクニック」について

リサイクルトークについては、寄せられた意見をもとに、掲載内容の絞り込みをおこなった。ダーニングなどの写真提供もあり、修繕して使うこと=おしゃれで可愛く作り変えるというプラスのイメージを持ってもらえたら良いとの話があった。古着の売却などの話やフリマアプリでの売買等の話もあった。

また資源回収に出すという意見もあるが、資源回収に出た衣類はその後どうなるかについては触れた方が良いとの意見もあった。

ある20代の委員からは姉や母と衣服を交換したり、お互いに使い回しているといい、そのことがお互いのおしゃれに関する知識を深めることになっていて会話のきっかけになるという話もあった。

ごみ減量テクニックについては「果たして雑草のことだけで良いのか」「包装容器の話などに触れた方がよいのでは」「ストレス発散で物を買うのではなく、物を使い切ることで精神的な充足を感じる(=足るを知る)など物の見方についての言及もあって欲しい」な

ど様々な意見があった。

しかし最終的には「この冊子の読者は誰をターゲットにしているのか、そのターゲットの意識・行動が変わるような内容にすべきではないか」との意見が出た。

30～50代の4人家族が簡単に取り組み、A4サイズ1ページに収まる内容を考えた時に、あまり色々な内容を載せて記事が散漫になるより、雑草というテーマを決めたのであれば、分かりやすく掘り下げて記事にした方が良いとの結論に至った。

雑草の記事を載せるのにあたっては、3段構成にして、ステップ1～3と徐々に手軽なところから本格的なごみの減量にステップアップするような構成にすることになった。

ステップ1 雑草の天日干し（体積を減らして捨てる）、ステップ2 雑草の高刈り（雑草の伸びを抑えて、ごみ出し頻度を下げる）、ステップ3 雑草を土に還す（自然に還元する）とすると収まりが良いだろうとの意見で一致した。

リサイクルトーク<衣類編>		ごみ減量テクニック<雑草編>	
<p>なかなか減らない衣類、ごみに出す時に悩まいませんか？サステナブルファッションやエシカル消費などリサイクルに関わる言葉を聞くけどよく分からない。ごみに捨てる時、リサイクルに出す時、どう考えているか様々な年代性別の方に話を聞きました。</p>		<p>手軽にできるごみの減量テクニックを紹介します。毎年あなたの家のお庭から出る雑草もちょっとした工夫で減量できますよ。みんなで取り組んでみましょう。</p>	
<p>40代 パート 女性 穴の開いた作業着を刺繍糸で繕ったら、簡単にかわいくできて、捨てずにすみました！昔の人は服を繕ってたんだけよなあと改めて思いました。アップリケなどもやってみたいです！</p>		<p>20代 学生 男性 フリマアプリで流行したものを買って、着なくなったなら、またフリマアプリで売る。コスパや保管の面で楽。</p>	<p>①雑草の高刈り お庭の雑草を土が露出するまで抜ききっていませんか？雑草がまったくない土と適度に残った土では保水性に差が出ます。ある程度の高さで残しておいたほうが、土に水分が残り高温や湯水に弱い植物には良いこともあります。何事も適度が肝心です。</p>
<p>20代 会社員 女性 今シーズン1回も来てないという洋服は捨てる。新しければ捨てるに親にあげる場合もある。親子で服を交換する時もある。他に新しい服を買った時や衣替えの時に捨てる。捨てるのは、市の衣類収集日だが、チョキチョキ切って雑巾することの方が多い。</p>	<p>70代 主婦 女性 まだ着られる服が捨てられるのはもったいない。リサイクルショップや福祉団体に寄付して、必要な人に使ってもらう方がごみ出すより気分が良い。</p>	 <p>②雑草の天日干し 刈った雑草をすぐに袋に詰めて出すよりも、2～3日程度天日に干すとかなりカサが減ります。(2～30%) また干すと折りたたんだりしやすく、袋にも詰めやすい。ごみ袋も節約できます。</p>	
<p>30代 会社員 女性 子ども服は成長に合わせて使えなくなる事が多いから悩む。保育園に置いてある交換箱に入ると、兄妹がいる家庭が持つて行く物々交換をうまく使っている。</p>	<p>30代 会社員 男性 流行も10年くらいで1周しているイメージだから、古着屋も意外に良いと思う。ヴィンテージなら買も担保されているし、こなれていてカッコ良い。</p>	<p>③生ごみと一緒に雑草を堆肥化する プランターに余った黒土と生ごみ、雑草を入れて蓋をすると簡単コンポストに。温度が上がりがやすく雨が入らないように波板などで囲うと簡易的なごみ処理容器になります。その他にも、生ごみ堆肥化容器（EM菌バケツ）、ダンボールコンポストの講習会を市とごみ減量推進員で年数回実施しています。</p>	
<p>50代 会社員 男性 時間をあまりかけたくない。地域のごみ出しルールに忠実に従う。</p>	<p>60代 主婦 女性 リサイクルには賛成だが、重い袋を持ってリサイクルショップに行くのが大変。もっと手軽にできる仕組みがあれば良いが...</p>	<p>編集後記 今回は読みやすさ、手に取りやすさを意識して誌面を作りました。載せきれなかった熱い思いや話し合いの様子などはQRコードから！</p>	

↑↑ これまでの議論をもとに中面・掲載内容文（案）を作成した。 ↑↑

これらの議論をうけて再度文案修正をし、できあがった修正案に、業者がレイアウト・編集作業を行い何度か修正を加え第1稿が完成した。

完成した第1校

へらすぞうとげん人くん

ある町で発見されたミネラルの石に由来する新しいソラ。今のままだと、ある町の農産物産出量が増えたとお祝いで賞状をもらうことになるけれど、ごみを減らす使命を持ったソラくん、自然や人々を大切に思っている。

ソラくん
げん人くん

二人は協力し、楽しく減量のアイデアを考え、地域のひとたちと共に取り組んでいます！

日々の小さな「へらすぞう」で、あきる野の未来はもっと美しく

2025年2月発行

へらすぞう #29

発行：健康・あきる野ごみ会館

ごみ出しと分別は未来のための選択です。

CO₂増加、天候不順、埋立で先のない、悲しい未来

今の子どもたちが大人になった未来、埋立で先が森林、天候不順に苦しんでいることが無いよう、今できることがあります。

自然あふれる、子ども達に誇れるあきる野の未来

少しの手間を積み重ねることで、自然あふれるあきる野を守ることができます。『いらぬ』の二者択一から、『いるもの』資源になるもの／ごみしかできないもの』の三択に、思考をシフトしましょう。とりあえず、なんでも可能ごみ出す方法を考えることも、お

資源を無駄にしないコツ、みんなで考える

リサイクル (衣類編)

「衣食住」と並べられるように、衣類は人の生活に欠かせないもの。また、ファッションは楽しみのひとつでもあります。でも、着なくなった服をどう処理すればいいか、いざごみに出す時に悩んでしまうことはありませんか？そこで、衣類のごみ処理やリサイクルについて、さまざまな年代・性別の方々にお話を聞きました！

ごみのゆくえ

日々の暮らしの中で必ず出てる「ごみ」。何気なく燃えるごみとして捨ててしまっていないでしょうか？そして、それは本当に「ごみ」なのでしょう？「ごみのゆくえ」を考えて

ごみ？or資源？

進取の梱包材や梱包材の紙

食品トレイ

食べ残しや賞味期限切れ食品

今日はお店で買った話題のドレッシングが、高く付いた。

食べ切れてなかった。

空欄でスーパーに行ったから、思ったより買いすぎちゃったかな...

子ども服は成長に合わせて変えなくてはならないから残りますが、資源として活用できるもの、リサイクルして再利用できるもの、賞味期限切れ食品、賞味期限切れ食品を回収して、再利用してあげたい。

お肉の白いトレイや、お弁当の色柄がついたトレイはどうやって出すの？燃えるごみ？

白いトレイは資源になるよ、色柄がついたものも、スーパーなどで回収してくれるお店もあるよ。そのまま可燃ごみに入ると、かさばるからごみ袋がもったいないよ。*お酢で洗ってから出しよう

食べものを捨てるのって、やっぱり気が引けるわね。買いすぎで賞味期限切れになった食品ももったいないね...

食べ物は命だよ。あきる野市の可燃ごみの約9%が食べ残しと未開封食品らしいよ。賞味期限切れの未開封食品が、一般家庭だけで年間1,100トン以上捨てられているんだって！必要なだけ買って、作って、残さず食べよう。

ごみ減量テクニック 雑草編

手軽にできるごみの減量テクニックをご紹介します。あなたの家のお庭から出る雑草もちょっとした工夫で減量できますよ！みんなで取り組んでみましょう。

1 雑草の天日干し

刈った雑草をすぐに袋に入れて出すよりも、2〜3日程度天日に干すとかなりかさ減ります(20〜30%)。刈った草を袋に入れてまだと水分が飛ばず、腐敗防止が出来ますが、湿気の多いところに干すと匂いも出まします。また干すと乾いたみずや、袋にも匂いが付くので、ごみ袋も節約できます。

2 雑草の高刈り

お庭の雑草を土が露出するまで刈ききっていませんか？雑草がまったくない土、湿度に降った土では雑草の根が枯れます。ある程度の高さで刈っておいたほうが、土に水分が残り高湿度や高水に強い雑草には良いことでもあります。何事も適度が肝心です。

3 生ごみと一緒に雑草を堆肥化

プランターに余った土と生ごみ、雑草を入れて置くと簡単コンポストに。温度が上がると雨が入らないように透気などで調節しながら堆肥になります。その他にも、生ごみ処理施設(EM菌/バクテリア)、ダンボールコンポストの講習会を市とごみ減量推進員で年数回実施しています。(お問い合わせ：市役所●●課/000-0000-0000)

完成した第1校に対して、さらに意見や表現の修正を加え、第2校、最終稿を経て、ついに「ごみ情報誌へらすぞう第29号」が完成した。

編集後記

今回は、より一層美しく読んでもらえるような紙面づくりを目標にしました。今回は、より一層美しく読んでもらえるような紙面づくりを目標にしました。今回は、より一層美しく読んでもらえるような紙面づくりを目標にしました。今回は、より一層美しく読んでもらえるような紙面づくりを目標にしました。